

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

【概要】

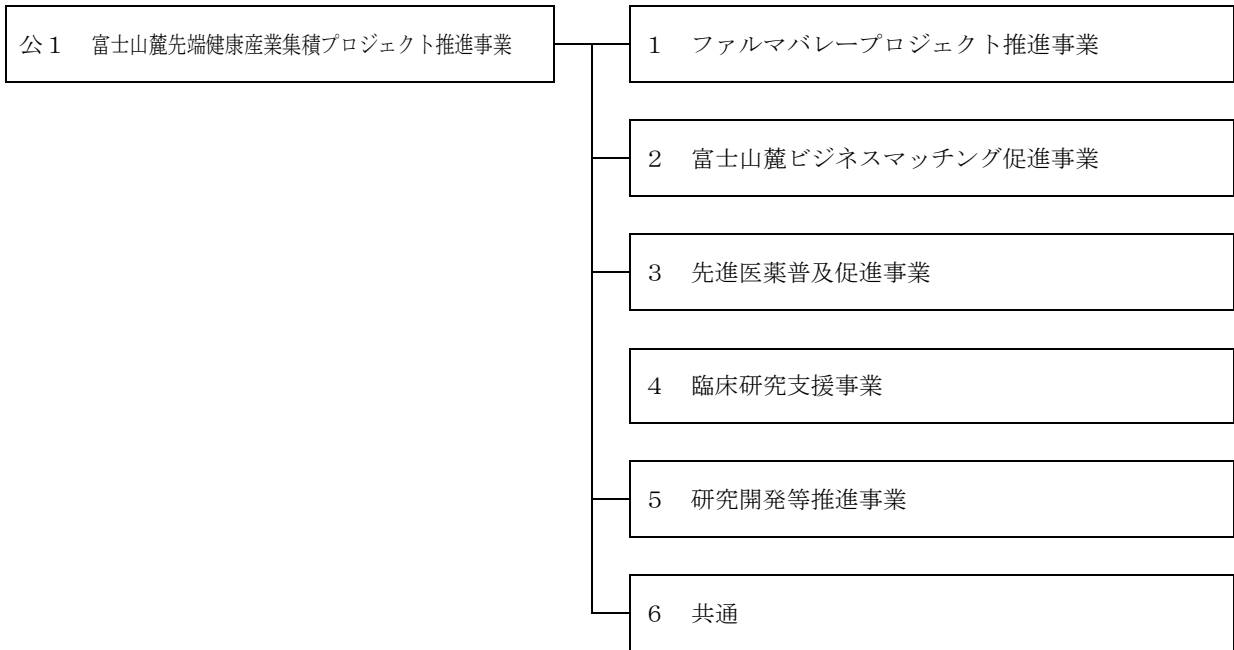
当機構は、静岡県が進めるファルマバレープロジェクトを推進し、医療機関を中心として医療健康産業が集積する医療城下町の創生を図り、もって世界一の健康長寿県の形成及び地域経済の発展に寄与することを目的に、専門性の高い事業を機動的に行うことができる法人として設立された。

令和6年度は、医療機器、介護福祉機器等のものづくり支援のほか、「自立のための3歩の住まい」の実装化に向けた取り組みや、「医療田園都市構想」の実現に向けた市町等との積極的な意見交換を行い、高付加価値産業が集積する超高齢社会の理想郷づくりを推進した。

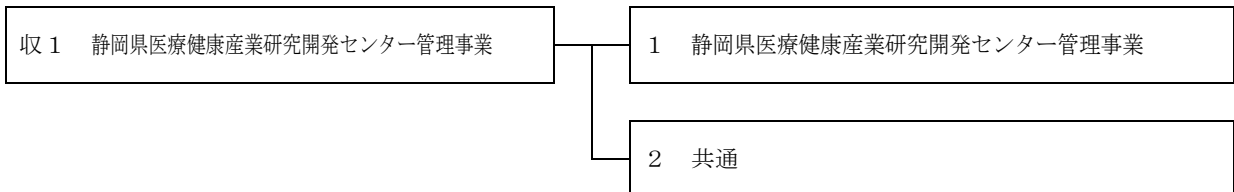
また、連携する山梨県との共同事業はもとより、中国等の視察も積極的に受け入れるなど、海外との広域連携も視野にプロジェクトを推進した。

【令和6年度事業体系図】

1 公益事業



2 収益事業



※各事業へ配賦することが困難な費用は、公益事業並びに収益事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理

公益事業

公1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業

県が策定したファルマバレープロジェクト第4次戦略計画に基づき、産学官金、医看工連携による画期的な診断・治療法、医療機器等の開発による新産業の創出と人材育成を図り、健康増進・疾病克服と地域経済の活性化につなげるため各事業を実施した。

1 ファルマバレープロジェクト推進事業

コーディネーターを活用した共同研究や医看工連携による研究開発を推進するほか、センター主催の展示会や医療機器等開発テーマ実現化のための検討会議等を開催し、産学官金の交流、企業の事業化・製品化を支援した。また、ファルマバレーセンターの製品開発支援のノウハウや、静岡がんセンターの蓄積された経験等を生かし、これまでに形成された医療城下町を基盤に、「自立のための3歩の住まい」に代表される健康長寿・自立支援プロジェクトや地域の一層の発展を目指す医療田園都市構想を推進し、超高齢社会の理想郷の構築に注力した。その結果、令和6年度のファルマバレープロジェクトの製品化件数は13件、産業人材育成人数は109名となり、年度目標値（製品化件数13件、産業人材育成人数93名）を達成できたと評価している。

(1) 産学官金ネットワーク形成

- ①産学官金ネットワーク形成のための産業支援ネットワーク会議を開催し、情報の共有を行った。

開催日	内 容
5月15日	医療田園都市構想の進捗説明、自立のための3歩の住まい見学会ほか
7月17日	富士山東麓エコガーデンシティ地域循環共生圏（御殿場市）、三島駅南口周辺再開発の取組について（三島市）ほか
9月18日	伊豆市施策について（伊豆市）、総合防災アプリ「静岡県防災」について（静岡県危機管理部）ほか
11月24日	知的財産権戦略セミナー 第一部「事例で学ぶ職務発明」、第二部「特許情報の活用術」（講師：特許庁）
1月15日	VIRTUAL SHIZUOKA について（静岡県デジタル戦略局）、「SHIP（SHizuoka Innovation Platform）」について（SHIP）
3月11日	医療田園都市構想勉強会「暮らしよろず相談（住民の暮らしのあらゆる問題解決をするワンストップ窓口）」（静岡がんセンター）

②大学・企業等情報収集のための訪問調査等を実施した。

区 分	件 数	区 分	件 数
企業	500 件	国、県関係	38 件
大学・研究機関	16 件	業界団体・支援機関等	51 件
病院	159 件	その他	237 件
商工会議所・商工会	20 件	合計 ※	1,123 件
市役所・町役場	102 件	※うちPVP参画12市町管内424件	

(2) 新産業・新事業シーズ創出

①医療・介護現場のニーズを製品化に結び付けるため、医療機器等開発テーマ実現化のための検討会を開催した。

5月14日、6月4日、6月25日及び8月21日の計4回開催

②医療機器等の製品化における技術的課題解決のための可能性調査（試作等）を行った。

開発テーマ	委託先	委託費
女性整形外科医に優しい高倍力鉗子の開発	粹然(株)	896 千円
感染防止用隔離ブースの開発	日商産業(株)	900 千円
抜管防止用メッシュカバーの開発	(株)メディカルプロジェクト	146.8 千円
ピストル形状の介護用箸の開発	アポロメーカー(株)	400 千円
外科手術で使用される開創器に近接撮影用のビデオカメラを固定するフレキシブルアーム	増田樹脂化学工業(株)	730 千円
経鼻胃管カテーテル固定テープ	(株)ダイセン	540 千円
産婦衣の開発	山本被服(株)	390 千円
尿バッグカバー	サーモ包装(株)	860 千円
血管外注入の模擬インシデントモデルの製作と検出原理の検討	(株)トライテック	1,600 千円
AED操作時のカバー	(株)フジネット	320 千円

(3) 企業間連携医療機器等開発助成事業

企業間連携による研究開発成果の早期実用化のための助成を行った。

応募：3件（うち2件が2年枠） 採択：3件 取下げ：1件 審査会：5月29日

事業テーマ	企業名	交付決定額
各種手技技能向上に必要な接触感覚の再現による高度化訓練の効率化及び個性最適化の実現を目指す「応答型ハプティクス系シミュレーション用センサーグローブシステム」の試作開発（2年枠）	(株)ネクストニュートンズ	4,750千円
流量調整が簡単にできる経腸栄養投与用の新機構流用調整器の開発（2年枠）	(企業都合により取下げ)	—
IoT リモートセルフ乳がん検査システムの開発	アイグリット(株)	3,301千円

(4) 研究開発支援

医薬品医療機器等法に関する相談会を開催し、延べ24社の相談に応じた。

このうち1社が第三種医療機器製造販売業許可を取得し、2社がISO13485の認証取得に向けた取組を開始した。

開催日	件数および所在地	開催日	件数および所在地
4月23日	2社（富士宮市、長泉町）	10月23日	1社（磐田市）
5月28日	3社（静岡市2、長泉町）	11月26日	2社（浜松市、長泉町）
6月25日	2社（長泉町、沼津市）	12月4日	1社（富士宮市）
7月24日	1社（長泉町）	12月24日	1社（長泉町）
8月8日	1社（富士宮市）	1月28日	1社（長泉町）
8月27日	2社（長泉町、浜松市）	2月25日	1社（長泉町）
9月24日	2社（長泉町2）	2月26日	1社（浜松市）
10月22日	1社（富士市）	3月18日	2社（沼津市）

(5) 医療健康関連産業人材育成

地域企業の有する高い技術力と研究開発成果を新事業・新産業の創出に結びつけるための講座を開催した。

開催日	概要
10月9日	受講者：25名
10月16日	講師：東京富士大学経営学部 隅田 浩司 氏 ・事業構想力とは／視点獲得能力とは ・分析のフレームワーク（SWOT分析、5フォース等） ・思考のワナ・クセ／グループダイナミクス ・ビジネス交渉学（対話と会話、BATNAなど） ・SDGsと経営／アフターコロナの経営 ほか
10月30日	
11月13日	
12月4日	
12月11日	
12月11日	

（6）医療田園都市構想の推進

医療城下町を基盤に、超高齢社会において住民が安心して暮らせる理想郷として、医療田園都市の構築実現を目指すため、県が策定した「医療田園都市構想」の情報発信や高齢者が安全・安心に生活できる居室「自立のための3歩の住まい」の提案による健康長寿・自立支援プロジェクトの推進に取り組んだ。

①医療田園都市構想

静岡県が令和5年7月に策定した「医療田園都市構想」の情報発信を行うとともに、モデル地域としている東部12市町の首長へ具体的行動計画を説明したほか、関係者による勉強会を開催した。

ア) 情報発信

実施日	内容
9月27日	魅力的な街づくりサロン（主催：NPO法人伊豆地域振興研究所）
1月30日	まちづくり講演会（主催：沼津商工会議所）
2月4日	ファルマバレープロジェクト東京セミナー
3月1日	静岡がん会議2024
3月28日	静岡新聞「風は東から」

イ) 12市町の首長への説明

実施日	訪問市町	実施日	訪問市町
6月27日	沼津市	1月30日	伊豆の国市
12月9日	御殿場市	1月31日	函南町
12月19日	富士宮市	1月31日	富士市
12月20日	小山町	2月13日	三島市
12月24日	裾野市	2月14日	伊豆市
1月15日	清水町	2月20日	長泉町

ウ) 勉強会

実施日	内 容
2月27日	テーマ①「各自治体が目指すべきスマート社会のあり方について」 水島医療情報研究所所長 水島 洋 氏 テーマ②「病院建設について」 (株)システム環境研究所顧問 糸山 剛 氏
3月11日	テーマ「暮らしのよろず相談」ー紙媒体から共通アプリの活用へー 静岡がんセンター参与 堀内 智子 氏

②健康長寿・自立支援プロジェクト

ア) 自立支援機器開発のための助成を行った。

応募：3件 採 択：3件 審査会：5月29日

事業テーマ	企業名	交付決定額
スマホ活用の見守りナースコールのグローバル社会に向けた多言語対応の開発【令和6年度上市】	(株) i S E E D	2,250千円
在宅・小規模施設用中度・重度障がい児向けの入浴姿勢保持の検証装置と販売装置の開発	(株) トマト	3,000千円
利用者と介助者に優しい防滑面積調整クッション【令和6年度上市】	(株) 橋本エンジニアリング	2,194千円

イ) 「自立のための3歩の住まい」の社会実装化に向けて広報PRを行った。

・展示会

開催日	イベント名	場所
8月25日 ～26日	日本難病看護学会学術集会	グランシップ
8月25日	静岡リハビリテーション懇話会	沼津プラサヴェルデ
9月5日	静岡県高齢者福祉研究会 介護機器展	グランシップ
10月26日 ～27日	メディアメッセージ2024	ツインメッセ静岡
12月7日	富士介護サービス研究集会	富士市ロゼシアター
2月3日 ～5日	C a r e T E X 東京	東京ビッグサイト

・モデルルームの整備、情報発信を行った。

✓令和6年度モデルルーム見学者560名(参考:令和5年度365名)、うち海外からの見学者は中国大使館をはじめ107名

- ✓ SBSマイホームセンター内 リフォームプラザ ブース出展（4/1～3/31）
- ✓ コミュニティラジオ 76.9FM.Hi! 出演（6/20、8/29、9/12）
- ✓ 中日大健康医療オンラインフォーラムにて講演（9/27）
- ✓ 増田樹脂化学工業(株)（焼津市） 入浴介助・入浴自助具「ユニバーサルシャワーフック」設置

ウ) 「静岡コンソーシアム」を設立のため、キックオフミーティングを開催した。

本コンソーシアムは、「自立のための3歩の住まい」の社会実装や、介護福祉機器等の提案、開発に向けた活動を行う。

- ・令和7年3月31日現在、22企業・団体が参加

実施日	内 容
1月24日	テーマ①基調講演 「自立のための3歩の住まい」実装化に向けての可能性 ～高齢化社会で勝ち残る工務店モデル～ バリアフリー住宅設計事務所 白石 充 氏 テーマ②パネルディスカッション 人生100年時代の住宅整備「自立のための3歩の住まい」を基に、 高齢者の住まいづくりに必要なポイントについて バリアフリー住宅設計事務所 白石 充 氏 (株)後藤工務店 後藤 剛徳 氏 東工業(株) 岩田 浩一 氏 (社福)美芳会 大塚 芳正 氏 (社福)美芳会 大塚 芳子 氏 (有)しずき 田中 啓介 氏

エ) 生活支援ロボット開発促進のための研究会等を開催した。

- 1 製品が令和7年度上市予定。

開催日	内 容
5月13日	ロボット開発企業ヒアリング ・(株)ユピテル 静岡研究所
10月7日	生活支援ロボットセミナー（沼津信用金庫との共催） ・講演「テクノロジーによる身体拡張の可能性」 講師：X i b o r g社 代表取締役 遠藤 謙 氏 ・クロストーク 遠藤社長 & 小沼みのりアナウンサー

オ) モデルルームで活用可能な核心的製品の試作を行った。

試作テーマ	委託先	委託金額
入浴時体調変化モニタリングシステム	(株)メタテクノ	2,868.8千円

(7) 広報・販路開拓

ファルマバレープロジェクトや健康長寿・自立支援プロジェクトの取組を広く発信するため、パンフレットやホームページなどの媒体に加え、ニュースレターを作成するなど情報発信を行った。

- ①ニュースレターV o 1. 3 2を令和6年11月に発行。プロジェクト参画企業等へ配付。
- ②静岡新聞全県版「風は東から」(再掲)
- ③各種展示会へ出展し、販路開拓、ネットワークの拡大、プロジェクトの広報等を図った。

開催日	展示会等	場所
4月17日 ～19日	MedtecJapan2024	東京ビッグサイト
6月20日 ～22日	メディカルショージャパン 2024 (日本医療機器学会)	パシフィコ横浜
9月27日 ～28日	メディカルクリエーションふくしま 2024	ビッグパレット ふくしま
12月20日 ～21日	第46回日本手術医学会総会	グランキューブ 大阪
11月7日	Made in Mt.Fuji ふじのくに医療介護福祉機器展 ～富士山麓産学官金連携フォーラム 2024～	プラサヴェルデ
3月3日	つくば×静岡 医療機器・福祉機器ピッチ (県内スタートアップ企業5社参加)【新規】	つくば研究支援 センター

(8) 広域連携

山梨県等との連携を推進した。

- ①メディカルメッセ共同出展

開催日	出展企業	場所
4月18日 ～20日	・静岡県企業4社+PVC フカサワ、トライテック、ジーニアルライト、 クリエイティブコーティング ・山梨県企業9社+MDCC	愛知国際展示場

- ②医療・ヘルスケアスタートアップ企業とのマッチングイベント

開催日	概要	場所
2月28日	スタートアップ企業7社によるプレゼンテーション(静岡・山梨企業、支援機関、VC、行政ほか約30名参加)【新規】	コモレ四谷

- ③首都圏製販企業見学会

開催日	参加企業(申込順)	見学先企業
8月26日	・静岡県企業5社 サカイ産業、大石測器、トラス、静宏産業、 富士精工	朝日インテック(株)

④企業見学会（本年度は合同視察会とした）

開催日	参加企業（申込順）	視察先
9月13日	・静岡県企業7社 テルモ、伊豆技研、日本プラスト、ナカハラ、 静宏産業、フカサワ、三島市	山梨テクノICT メッセ 2024

⑤都内アカデミア連携

開催日	概要	訪問先（ニーズ元）
11月22日	・大学側7ニーズ発表 静岡5社、山梨7社、ほか製販企業等含む43名 参加	東京女子医科大学

(9) 創薬探索研究

静岡がんセンター、静岡県立大学、静岡県環境衛生科学研究所、全国のアカデミア等と連携した静岡県発の医薬品開発を目的に創薬探索研究を推進した。

①創薬探索研究活動

- ア) 静岡化合物ライブラリー（123,676化合物）の化合物提供先10件（大学9件、研究所1件）のうち、A大学に提供した化合物からヒット化合物が1つ見つかった。
- イ) 静岡県内外の創薬探索に携わる研究者と共同研究を進めており、7件（大学5件、研究所2件）が継続している。
- ウ) 各分野の専門的な研究者による意見交換の場を通じて創薬研究を推進するため、創薬サロンを開催した。

開催日	内容
5月14日	<p>【話題提供】</p> <p>1 製薬会社での創薬活動に関して 講師：製薬会社</p> <p>2 創薬におけるハードルと産学連携への期待 講師：製薬会社</p> <p>3 マルチオミックス解析に基づく創薬・診断薬開発 講師：静岡県静岡がんセンター研究所</p> <p>【出席者】</p> <p>製薬会社：2名 静岡県立大学薬学部：6名 公益財団法人実中研：1名 静岡県立静岡がんセンター：4名 ファルマバレーセンター：2名</p>

- エ) BioJapan2024（10月9日～11日：パシフィコ横浜）において静岡化合物ライブラリー、プロジェクトHOPEを中心とした静岡がんセンターの研究活動についてブース出展や特別講演により情報発信するとともに、開発に向け企業の協力が必要となるテーマについて企業担当者（7社）と面談を行った。
- 面談後は、AI創薬に強みを持つ企業と協働した研究について、契約締結に至り、具体的な検討を開始した。

オ) 創薬探索助言委員会を開催し、専門家から事業活動の活性化に向けて、助言・意見を聞いた。委員からは主に以下の助言があった。

- ・予算執行の効率化、重点化
- ・専門家の意見を取り入れて、方向性を出していく必要あり

開催日	内 容
2月20日	1 創薬探索センター活動状況報告 発表者：浅井 章良（静岡県立大学創薬探索センター 教授） 2 環境衛生科学研究所の活動について 発表者：安藤 隆幸（静岡環境衛生科学研究所 主幹） 3 ファルマバレーセンターの活動状況について 発表者：鎌田 宣夫（ファルマバレーセンター コーディネーター） 4 静岡がんセンターからの話題提供 発表者：坂東 悦郎（静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長）

②創薬探索研究委託

- ア) 静岡県立大学創薬探索センター及び静岡県環境衛生科学研究所へ医薬品シーズの可能性検討や管理を委託した。
- イ) B大学とC研究所との共同研究において腫瘍縮小効果が確認された化合物について、製薬企業への導出に向けた活動を行った。

2 富士山麓ビジネスマッチング促進事業

産学官金連携等から創出される製品化シーズと地域企業の技術とのビジネスマッチングを支援した。

(1) 専門講座の開催

医療機器ビジネス参入セミナーの開催 受講者：41名

開催日	概 要
2月19日	医療機器ビジネスにおける知っておくべき着目点と業界の動向 講師：GEヘルスケアジャパン 大竹 正規 氏
	医療機器に関連する企業の生き残り方 医療機器で稼ぐためには 講師：ミッドケープ・アンド・カンパニー 中崎 知道 氏
	米国における医療機器の規制 講師：BLA Regulatory Frank Li 氏 ほか

(2) 技術シーズ情報の収集

- ・ものづくり企業集「ふじのくにの宝物」改訂
(2,500冊を作成、データベース掲載633社)

(3) マッチングセッションの開催

- ・展示会を開催し、ビジネスマッチングの機会を提供した。

開催日	概要
11月7日	<p>Made in Mt. Fuji ふじのくに医療・介護福祉機器展 ～富士山麓産学官金連携フォーラム 2024～ (静岡県東部4信金ビジネス商談会同時開催)</p> <p>出展数：69 ブース 70 団体 (産 56、学 2、官 8、金 4)、(県内 45、県外 25)</p> <p>来場者：約 450 名 面談数：約 900 件 (うち商談約 90 件)</p>

(4) 企業訪問、事業化等の各種支援

- ・コーディネーターの企業訪問による情報収集やビジネスマッチングにより、事業化に向けた支援を行った。

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数	
4月	64件	7月	50件	10月	46件	1月	43件	
5月	116件	8月	46件	11月	55件	2月	42件	
6月	54件	9月	37件	12月	58件	3月	38件	
							合計	649件

3 先進医薬普及促進事業

先進医薬の普及促進及び医療の質の向上のため、静岡県治験ネットワークを運営し、支援倫理委員会部会の運営や教育研修などを行った。

ネットワーク病院の治験や臨床研究を支援した結果、9試験で委受託契約締結、うち7試験での病院選定調査を通じて3病院で治験開始に至ったほか、認定CRC1名合格などの成果につながった。

(1) 治験ネットワーク (NW) の運営

①推進部会

開催日	会議名	内容	会場
6月26日	推進部会 (全体会議)	活動内容、事業実績等の協議	Web形式

②支援倫理委員会部会の開催

開催日	会議名	会場
6月12日	IRB委員等研修部会	Web形式
11月13日	IRB委員等研修部会	Web形式
12月18日	IRB委員等研修部会	Web形式

1月22日	I R B 委員等研修部会	W e b 形式
3月19日	I R B 委員等研修部会	W e b 形式

※『臨床研究・治験関連業務に役立つQ&A集』を作成し、ファルマバレーセンターのホームページ上に掲載するとともに、冊子版400部はネットワーク病院への配布や学会でのブース出展時に展示配布とした。

③治験実施の相談、受託支援（カッコ内は平成15年からの累計）

内訳	企業数	試験数
相談	4社（58社）	10試験（211試験）
支援契約	3社（42社）	9試験（151試験）

(2) 教育研修

①教育研修ワーキンググループ

開催日	内容	出席者	会場
4月23日	教育研修事業検討	6名	W e b 形式
6月4日	教育研修事業検討	8名	W e b 形式
1月15日	教育研修事業検討	7名	W e b 形式
2月21日	教育研修事業検討	8名	W e b 形式

②研修会等

開催日	研修名	出席者	会場
7月6日	スキルアップ研修	34名	ハイブリッド形式
9月7日	認定CRC養成準備講座	10名	パルシェ会議室 (静岡市)
1月18日	アドバンストセミナー	115名	ハイブリッド形式

(3) ネットワーク病院の臨床研究の推進

ネットワークにおける臨床研究の活性化を目的として、平成29年度から臨床研究検討ワーキンググループを中心に臨床研究について検討を進めている。現在4試験目が進行中である。

① 各試験の進捗状況

- ・PVC-studyⅢ：令和6年5月26日、第17回日本緩和医療薬学会にて口頭発表
⇒ 優秀演題賞受賞
：英語論文作成中
- ・PVC-studyⅣ：データ収集中

(4) 県民への治験啓発活動

ネットワーク病院を通して、治験普及啓発用資材（ボールペン、クリアファイル等）を活用した啓発活動を行った。

4 臨床研究推進事業

静岡がんセンターや地域がん診療連携拠点病院等と連携し、がん領域の治療・臨床研究を推進した。

(1) 静岡がん治験ネットワーク推進

①多施設共同臨床試験Ⅱの実施（市販薬による抗がん剤使用時の副作用軽減効果の検証）

参加医療機関：18医療機関（県内11機関・県外7機関）

②多施設共同臨床試験Ⅲの実施（がん患者における合併症発生割合の検証）

参加医療機関：10医療機関（県内10機関）

③多施設共同臨床試験Ⅳの実施（固形がん患者における心血管系イベントに関する多施設共同前向き観察研究（SCOPE試験）

参加医療機関：7医療機関（県内7機関）

④新規試験として応募のあった試験の実施可能性を検討中

(2) 臨床研究推進

医療技術の進歩に寄与する先進医療の開発促進、エビデンスの確立等を図るため、静岡県治験ネットワーク登録医療機関に所属する研究者が主体となって計画、実施する臨床研究の運営を支援した。

試験名	研究内容	使用薬剤	実施期間
JASPAC01	市販されている抗がん剤（膀胱がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタビン S-1	平成18年度 ～
JIPANG	市販されている抗がん剤（肺がん）に関する多施設共同臨床研究	シスプラチン ビノレルビン ペメトレキセド	平成23年度 ～
JASPAC04	市販されている抗がん剤（膀胱がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタビン S-1	平成23年度 ～
JASPAC06	市販されている抗がん剤（膀胱がん）に関する多施設共同臨床研究	オキサリプラチン イリノテカン フルオロウラシル レボホリナートカルシウム	平成26年度 ～
EXPECT-study	市販の抗がん剤（乳がん）の多施設共同臨床研究	エリブリン	平成27年度 ～
OPERA02	舌再建術後の機能に関する多施設共同臨床研究	なし	平成29年度 ～
TRI-BE	市販の抗がん剤（乳がん）の多施設共同臨床研究	Paclitaxel Bevacizumab	令和2年度 ～
ネオアンチゲン	再発固形がんの免疫療法に関する臨床研究	樹状細胞ワクチン	令和5年度 ～

(3) 治験審査委員会運営事業

平成22年度から静岡がんセンターが設置する企業治験倫理審査委員会の運営を受託している。令和7年2月から月2回の開催とするため、新たに第2審査グループが設置されたことから、月2回の審査会の開催を受託している。

治験審査委員会（月1回開催→2月から月2回開催）

回数	開催日	会場	新規審査	継続審査	変更審査
1	4月18日	Web会議方式	5件	204件	59件
2	5月16日	Web会議方式	5件	185件	70件
3	6月20日	Web会議方式	5件	216件	89件
4	7月18日	Web会議方式	5件	199件	54件
5	8月8日	Web会議方式	5件	150件	38件
6	9月12日	Web会議方式	5件	224件	69件
7	10月12日	Web会議方式	5件	206件	91件
8	11月16日	Web会議方式	5件	278件	88件
9	12月21日	Web会議方式	5件	194件	81件
10	1月18日	Web会議方式	4件	187件	59件
11	2月6日	Web会議方式	2件	0件	0件
12	2月20日	Web会議方式	5件	322件	87件
13	3月6日	Web会議方式	1件	0件	0件
14	3月13日	Web会議方式	3件	174件	57件
計			60件	2,539件	842件

※（参考）令和5年度新規審査件数：50件

5 研究開発等推進事業

国、県等が実施する支援事業の事業管理機関として、企業、研究機関及び医療機関とコンソーシアムを組み、研究開発等の再委託をするとともに事業管理を行った。

(1) 先端産業創出プロジェクト革新技術創出補助金（静岡県）

実施期間	テーマ	企業
7月12日 ～3月31日	骨粗鬆症が誘発する非定型骨折治療用プレートの開発	東海部品工業(株)

(2) 成長型中小企業等研究開発支援事業（関東経済産業局）

実施期間	テーマ	企業
4月1日～ 3月31日	微細脳血管手術マイクロカテーテル用の超極細薄肉 SUS チューブの研究開発	(株)富士精工
4月1日～ 3月31日	無潤滑ダイヤモンド軸受けの研究開発	(株)エイディーディー

収 益 事 業

収 1 静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業

ファルマバレープロジェクトの拠点となる「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理業務を行った。入居者に対し、令和6年度の事業支援、施設の維持管理などの指定管理業務への取り組みについて満足度を調査した結果では、総合平均点が4.53点（前年度4.48点／5点満点）と概ね満足しているとの評価を得た。

(1) 施設の管理

- ①施設警備、設備の保守・点検、清掃、衛生関係、植栽管理等の維持管理業務を行ったほか、入居者からの各種改修要望に対応した。
また、大雨による建物の漏水被害に県との役割分担により、順次、対処した。
- ②安全、危機管理の観点から入居企業・県・委託業者と施設管理会議を定期的に行い、情報共有を図る体制を整えている。原則、四半期毎の集合開催としそれ以外は書面開催を取り入れており、満足度調査4.64点（前年度4.45点）評価であった。
- ③施設内の食堂業務委託に係る企画提案競技を行った結果、令和6年6月から新たな業者による運営がスタートし、満足度調査でも前年度の3.80点から4.18点へ改善する評価となった。

(2) 入居者支援

- ①施設に入居する企業の研究開発事業に対し、支援連絡会を4回開催したほか、リーディングパートナー企業及びセンター入居のコンサル企業と連携し、企業ごとに、担当するラボマネージャー及びコーディネーターが伴走支援するなど、きめ細かいサポートを実施した。

満足度調査の結果では、ラボマネージャー支援4.75点（前年度4.83点）、コーディネーター支援4.45点（前年度4.30点）と安定した評価を得ている。

支援連絡会（集合開催）

開催日	内 容
5月16日	医療田園都市構想の事業紹介
9月12日	製品開発セミナー
12月19日	入居企業からの進捗報告
3月19日	入居企業からの年度状況報告

- ②令和6年7月から入居企業「(株)リコー」が、東芝テック(株)との複合機開発部門の事業統合会社「エトリア(株)」として、引き続きセンターでの研究開発を進めることとなったため、継続入居の事務手続きを支援した。

また、「サンスター(株)」から令和7年6月での退去の届出があったことから、明け渡しに向けた諸手続きの相談、支援に応じている。

(3) 連携・交流

入居企業間、入居企業と地域企業等との交流を促進するとともに、アイデア創出やマッチングの場を提供するため、施設を活用したセミナー・講演会等を開催した。令和6年度についても満足度4.18点（前年度4.10点）と一定評価を受けた。

①製品開発セミナー

開催日	内 容	参加者
9月12日	医療機器開発におけるサイバーセキュリティ 講師：一般社団法人日本医療機器産業連合会 医療機器サイバーセキュリティ対応ワーキンググループ 中里 俊章 氏	30名

②知的財産権戦略セミナー

開催日	内 容	参加者
11月20日	事例で学ぶ職務発明及び特許情報の活用術 講師：特許庁総務部企画調査課 法務調査員 比留川 浩介 氏 特許庁審査第二部 審査官 滝沢 和雄 氏	36名

(4) 貸館

医療健康分野の人材育成や産業振興など、医療機関、企業、産業支援機関等の利用を想定し、広く会議室を貸出した。

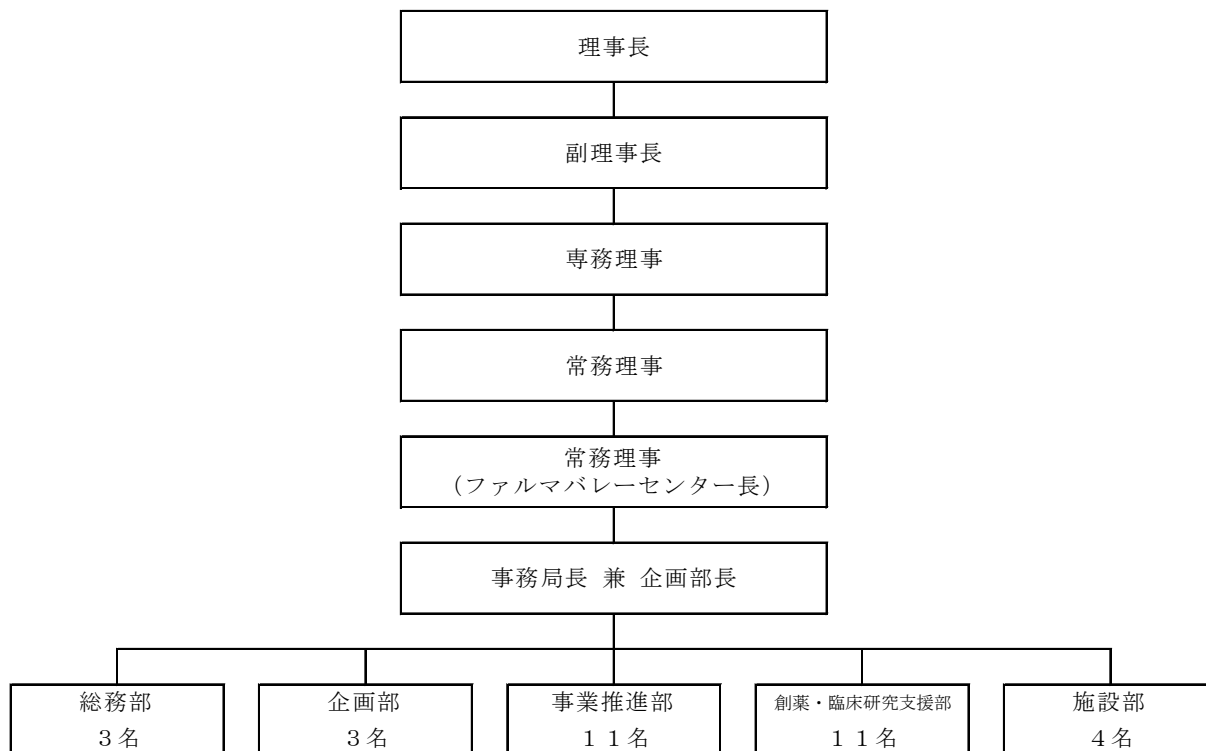
低廉な利用料金、良好なインターネット環境、駐車場の広さなどの利便性の良さから、リピート利用が定着してきている。

利用率

会 場	目標値	令和6年度	令和5年度
会 議 室	35%	33.6%	36.2%
交流ホール	30%	30.5%	29.5%

【参考】

組織体制（令和7年4月1日現在）



事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第9条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。